

6 2 3 号 東部地域畜産経営技術推進指導協議会 西部地域畜産経営技術推進指導協議会 2021. 4. 10
富山県東部家畜保健衛生所 富山県西部家畜保健衛生所

☆令和3年度新スタッフ……………	1	☆県畜産関係職員人事異動 ……	5
☆令和3年度 富山県畜産振興推進方針 ……	2	☆防疫情報……………	6
☆令和3年度 主な畜産関係事業の概要 ……	3	☆養豚場における感電死亡事故の発生に ついて……………	6
☆野生いのししの豚熱 (CSF) 検査結果 ……	4	☆お知らせ ……	6
☆令和2年度畜産酪農合同研修会より ……	4		

令和3年度新スタッフ

新年度を迎え、新しい体制がスタートしました。今年度も家畜伝染病の防疫、家畜の生産性向上、畜産物の安全・安心確保、畜産環境保全等に取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

東部家畜保健衛生所



係長	獣医師	獣医師	主任	主任	主任
	主任	主任	係長	主任	主任
検査課長	次長	所長	防疫課長	環境課長	

主任	獣医師	上席専門員	獣医師	係長	主任
獣医師	係長	主任	係長	主任	
検査課長	次長	所長	防疫課長	環境課長	

西部家畜保健衛生所



令和3年度 富山県畜産振興推進方針

去る3月26日に開催された令和2年度富山県畜産振興推進協議会（会長：農林水産部長、構成員：生産者団体、全農等関係機関）において、令和3年度の富山県畜産振興推進方針を策定しました。

今後、この方針に基づき、関係機関・団体と協力し、目標達成のために各種施策を総合的に実施し、畜産経営の向上や安定化を推進します。

1 基本方針

- 生産基盤の整備や生産技術の高位安定化により、畜産経営の維持拡大と畜産物の安定的な供給及び県産畜産物の消費拡大と銘柄化を推進する。
- 畜産農家への定期的な衛生指導や防疫対策の徹底などにより、高病原性鳥インフルエンザ、豚熱及び口蹄疫など家畜伝染病の発生予防とまん延防止に努める。
- 地域と調和した畜産経営を進めるとともに、畜産が持つ多面的機能を活用し、耕作放棄地等の有効利用と景観保全など地域活性化の取組みを進める。

2 主要目標指標

区 分		令和3年度目標	(参考) 令和2年度見込
畜産物の生産量 (t)	生乳	11,060	9,919
	牛肉	608	578
	豚肉	3,359	3,231
	鶏卵	19,000	21,481
飼料自給率 (%) (飼料作物面積等から推定)		29.0	26.7
飼料用稲面積 (ha) (県内生産・流通)	飼料用米	810	704
	稲WCS	420	408
	計	1,230	1,112
水田放牧等の面積 (ha)		40.0	32.6

3 重点推進事項

【生産基盤の整備】

- (1) 国内の他の産地や輸入畜産物との競争に打ち勝つため、国の畜産クラスター事業等による施設・機械の整備支援や公共牧場の活用、スマート農業技術の導入等により生産基盤の維持・拡大を推進。
- (2) 離農農家等の円滑な継承や新たな担い手等の確保対策を推進。
- (3) 優良種畜（受精卵、高能力種豚）や性判別精液の導入による家畜の改良増殖を推進。

【経営の安定化と食の安全確保や消費者への情報発信】

- (1) 畜産物の価格安定制度等の活用により経営安定を図り、安定供給と生産を推進。
- (2) 家畜伝染病の発生予防とまん延防止のため、豚熱ワクチンの接種、野生動物の侵入防止、消毒徹底などの飼養衛生管理対策と防疫資材の確保など体制整備を推進。
- (3) 富山食肉総合センターでのHACCPによる衛生管理を実施するとともに、エコフィードなどを活用した畜産物のブランド化や消費拡大の取組みを推進。

【地域との調和と多面的機能の活用】

- (1) 飼料用米・稲WCSの生産・利用の推進、未利用資源の活用による飼料自給率向上を図るとともに、堆肥を活用した土づくりなど耕畜連携による循環型農業を推進。
- (2) 農場HACCP検査や畜産GAPの推進及び環境基準の遵守による地域との調和がとれた持続可能な畜産経営の推進。
- (3) 耕作放棄地等での放牧等や蜜源である花畑としての活用を推進。

（農業技術課畜産振興班 岡村班長）

令和3年度 主な畜産関係事業の概要			当初予算額 (千円)
家畜改良増殖 対策事業	大家畜牛群改良推進事業	乳用牛及び肉用牛の牛群能力の向上	2,353
	畜産共進会開催事業	県内で開催される共進会開催費への支援	395
	優良肉豚生産システム化事業	優良な肉豚を生産するために必要な種豚の導入等に対する支援	1,825
	優良牛群整備推進事業費	乳牛や肉牛農家での受精卵移植技術の活用	4,585
畜産経営向上 対策事業	畜産経営総合指導体制整備強化事業	畜産コンサルタント団による総合支援指導	3,980
	畜産担い手ナビゲート事業	高校生の畜産体験、企業参入支援と情報一元化	461
	畜産環境保全推進指導事業	畜産環境問題等の発生防止のための総合指導	419
	養豚経営安定対策事業	国の「養豚経営安定制度」における生産者積立金への助成	9,100
	食肉衛生基盤強化事業	(株)富山食肉総合センターの施設整備、肉畜集荷対策への支援	32,508
飼料生産総合 対策事業	飼料利活用高度化事業	飼料作物の優良品種の選定、飼料・土壌等の成分分析	1,378
	牧場経営安定対策事業	公共牧場へ預託事業等の経費の一部助成、簡易放牧支援等	5,592
	⑧「とやまのエコフィード」利用畜産物ブランド化推進事業	エコフィードの需給マッチング、酒粕を活用した県産牛肉のブランド化を推進	5,450
とやま畜産基 盤強化事業	畜産施設継承円滑化事業	畜産農家の離農・遊休施設の継承を円滑に行うための取組みを支援	994
	⑨富山の畜産DXスタートアップ事業	DX（デジタル化による変革）の活用方法や整備計画等を検討	600
安心して美しい郷づくり事業		動物達とのふれあいに係る取組みを推進	598
家畜伝染病予防事業		家畜伝染病予防法に基づく検査等	26,865
家畜伝染病防疫体制強化整備事業		消毒機器等の整備、初動防疫体制の強化、防疫資材の備蓄、疾病迅速診断機器の整備	6,962
豚熱ワクチン接種推進事業		豚熱ワクチン接種の推進とモニタリング検査	13,695
⑩野生いのしし家畜伝染病防疫対策事業		野生いのししの豚熱及びアフリカ豚熱検査、診断機器の整備、病原体侵入の予防	9,617
畜産物安全性 確保総合対策 事業	飼料安全性確保強化指導事業	飼料の安全性確保と適正な使用・管理の指導	1,499
	動物医薬品取締指導	動物用医薬品の取締業務と適正使用の指導	563
	畜産物安全性確保対策事業	家畜衛生管理技術の向上のための指導・調査	7,339

なお、その他の事業も含め、詳細については、農業技術課畜産振興班、農産食品課食品安全係、広域普及指導センター、家畜保健衛生所にお問い合わせください。

(農業技術課畜産振興班 岡村班長)

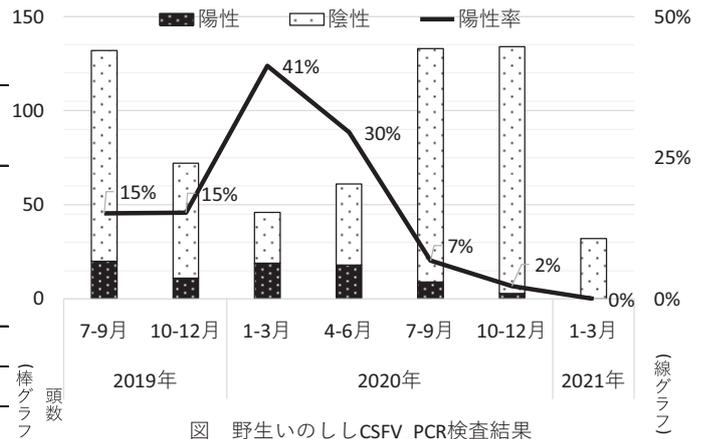
野生いのししの豚熱（CSF）検査結果

本県では、県内ではじめて野生いのししから豚熱ウイルス（CSFV）の遺伝子が検出された令和元年7月30日以降、今年3月までの約2年半の間、PCR検査にて610頭中80頭（13%）でCSFVの遺伝子陽性が確認されました。陽性頭数等の推移は下図のとおり昨年の1月から3月の検査では4割以上が陽性でしたが、今年の同時期の検査ではすべて陰性となり、CSFVが県内から消えたようにみえます。しかし、最近では比較的若齢のいのししにおいて、抗体陰性も目立ちはじめしており、それらがウイルス排出中のいのししと接触した場合、急速に感染が拡大する可能性があります。春はいのししの出産時期であり、前年に生まれたオスは性成熟を迎え行動圏を広げます。農家の皆様におかれましては、野生動物侵入防止対策、畜舎ごとの専用長靴の配置、車両特にタイヤ回りの洗浄・消毒をはじめとした衛生管理を徹底していただきたいと思っております。

表 野生いのししのCSFV_PCR検査

		検査頭数	陽性	陰性	陽性率
2019年	7-9月	132	20	112	15%
	10-12月	72	11	61	15%
2020年	1-3月	46	19	27	41%
	4-6月	61	18	43	30%
	7-9月	133	9	124	7%
	10-12月	134	3	131	2%
2021年	1-3月	32	0	32	0%
総計		610	80	530	13%

(2019.7.30～2021.3.16検査分)



(東部家保検査課 藤井主任)

令和2年度畜産酪農合同研修会より

令和3年3月17日(水)、県家畜人工授精師協会と県乳牛協会の合同研修会が富山県農業総合研修所 大研修室で開催されました。昨年度、両協会の研修会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け開催が見送られましたが、本年度は密にならないよう座席配置等を考慮したうえで開催され、県内から多くの畜産農家をはじめ畜産関係者が参集しました。

研修会には3人の講師が招かれ、1番手として高岡市の酪農家で clover farm 代表の青沼さんが「周産期疾病と日常の牛群管理の関係」についてお話しされました。発生の多い周産期疾病の原因を3つ挙げ、その予防対策について日頃の管理から得た知見を交えてお話しされ、課題をもって農場経営にとりくむ重要性について認識させられました。次に石川繁殖クリニック代表の石川獣医師の講義では、家畜人工授精時の基本姿勢や凍結ストローの取扱等、受胎率向上につながる基本的な事柄についてお話いただくとともに、ご自身の長年の技術の結晶である子宮の扱い方や妊娠鑑定の方法についても模型を使い詳しく解説していただきました。県家畜人工授精師協会会長でもある石川獣医師は講義後、「今年開業して14年目になり、年齢的にも残り何年現場で仕事ができるかわからないため、県内の家畜人工授精師に積極的に技術の伝授をしていきたい」との抱負を語られましたが、会場からはまだまだ県内畜産農家のために頑張ってもらいたいとのエールが送られていました。最後に県農業技術課の岩本主任から令和2年10月1日に一部改正された家畜改良増殖法についての概要と改正に伴い家畜人工授精所に課せられる義務についての説明がありました(詳細は本誌第616号2ページ)。会場には多くの家畜人工授精師が参加しており、講義後は、日頃の家畜人工授精業務にどのような影響があるのかなどの質問が飛び交っていました。

県内の牛飼養農家では高齢化等による廃業が進んでいる一面もありますが、本研修会には若い畜産農家や従業員が多く集まっており、活発に議論が交わされている様子から富山県の畜産の明るい未来を感じさせてくれました。

(東部家保防疫課 中村主任)

県畜産関係職員人事異動

4月1日及び3月31日（退職）付けて、以下のとおり県の畜産関係職員が異動しました。（敬称略）

区分	氏名	新所属	旧所属
農林水産部	南 理 野尻 直隆	農林水産部次長 農林水産部参事(昇任) 兼 厚生部参事	富山農林振興センター所長 農林水産部参事 兼 厚生部参事
農林水産総合 技術センター 畜産研究所	佐丸 郁雄 山科 一樹 清水 康博 上田 博美 中島 麻希子 青柳 浩 沖村 朋子 坪川 正	所長 副所長(昇任)、飼料環境課長事務取扱 兼 環境政策課主幹 酪農肉牛課長 養豚課長 副主幹研究員 副主幹研究員 副主幹研究員(昇任) 上席専門員	農業技術課畜産振興班長 農林水産総合技術センター畜産研究所酪農肉牛課長 農林水産総合技術センター畜産研究所養豚課長 富山農林振興センター農業普及課滑川・上市班長 富山農林振興センター副主幹普及指導員 高岡農林振興センター副主幹普及指導員 農林水産総合技術センター主任研究員 東部家畜保健衛生所長(再任用)
農業技術課	串田 泰彦 岡村 造 後藤 利隆 本多 秀次	課長 畜産振興班長 主幹 副主幹	農業技術課研究・普及班長 農業技術課主幹 東部家畜保健衛生所防疫課長 西部家畜保健衛生所検査課長
広域普及指導 センター	清水 雅代	副主幹普及指導員	高岡農林振興センター副主幹普及指導員
東部家畜保健 衛生所	尾崎 学 森岡 秀就 稲垣 達也 西井 純 稲畑 裕子 岡部 知恵 米澤 史浩 山口 香菜	所長 次長、指導課長事務取扱 防疫課長(昇任) 検査課長 環境課長 係長 主任 主任(昇任)	東部家畜保健衛生所次長 西部家畜保健衛生所次長、指導課長事務取扱 東部家畜保健衛生所検査課長 東部家畜保健衛生所環境課長 西部家畜保健衛生所副主幹 西部家畜保健衛生所係長 農林水産総合技術センター主任研究員 東部家畜保健衛生所獣医師
西部家畜保健 衛生所	池上 良 蓮沼 俊哉 飯田 佳代 神吉 武 伊勢 喬太 増永 梢	次長、指導課長事務取扱 防疫課長(昇任) 検査課長 環境課長 係長 主任	西部家畜保健衛生所防疫課長 農業技術課副主幹 西部家畜保健衛生所環境課長 農業技術課広域普及指導センター副係長 東部家畜保健衛生所主任 東部家畜保健衛生所主任
【転出】	大島 晃	農林水産総合技術センター農業研究所長	農林水産部参事、農業技術課長事務取扱
【退職】	山岸 和重 中島 宗雄 国吉 誠	退職 退職 退職	新川農林振興センター所長 農林水産総合技術センター畜産研究所長 農林水産総合技術センター畜産研究所副所長、飼料環境 課長事務取扱 兼 環境政策課主幹

防 疫 情 報

全国の主な家畜伝染病の発生

高病原性鳥インフルエンザ（法定伝染病）

（4月6日現在）

事 例	発生日	発生場所	経営形態	飼養頭数	血清型
52	3月13日	栃木県芳賀町	採卵鶏	約7.7万羽	H5N8

豚熱（CSF）（法定伝染病）

事 例	発生日	発生場所	経営形態	飼養頭数	備 考
63	3月31日	奈良県奈良市	豚一貫農場	1,089頭	ワクチン接種地域であるため、制限区域は設定しない
64	4月2日	群馬県前橋市	豚一貫農場	8,588頭	同上
	(関連農場1戸)	同上	豚一貫農場	1,202頭	

県内の主な家畜伝染性疾病の発生

病 名	畜 種	発生日	戸 数	頭羽数
牛クロストリジウム・パーフリンゲンス感染症	牛	2月15日	1	1
		2月21日	1	1
		3月9日	1	1
牛パストツレラ症とヒストフィルス・ソムニ感染症と牛マイコプラズマ肺炎	牛	2月24日	1	1
牛尿路コリネバクテリア感染症	牛	2月24日	1	1
牛パストツレラ症	牛	2月27日	1	1
豚トゥルエペレラ・ピオゲネス感染症	豚	3月2日	1	1
鶏コクシジウム病	鶏	3月2日	1	1
豚丹毒（届出伝染病）（と畜場発見）	豚	3月4日	2	2
		3月16日	1	1
牛マンヘミア症	牛	3月5日	1	1
牛コロナウイルス病	牛	3月8日	1	4
牛大腸菌症	牛	3月11日	1	1
牛パストツレラ症とヒストフィルス・ソムニ感染症と牛マイコプラズマ肺炎と創傷性	牛	3月12日	1	1
牛コロナウイルス病と牛コクシジウム病	牛	3月19日	1	1
牛コクシジウム病	牛	3月19日	1	1

養豚場における感電死亡事故の発生について

令和3年2月に高知県内の養豚場において、高圧洗浄機の修理時に従業員が感電し、死亡する事故が発生しました。原因は破損していた高圧洗浄機用キャブタイヤケーブルより漏電が発生し、漏電箇所から金属製配水管に電気が流れ、触れたことによる感電と推定されています。施設の電気設備の管理を行う電気主任技術者（電気保安協会）より、設置者は電気絶縁がとれていない旨を指摘され、「修理するまで使用しない」指示をされていたが、設置者にて絶縁を確認の上、電気主任技術者に確認せず機器を使用したものです。畜産農家の皆さんは以下のことに注意をお願いします。

- ・命を守るため、電気設備に不具合を発見した際は、触らないでください。
- ・電気設備に不具合を発見したら、電気主任技術者へ連絡をお願いします。
- ・電気主任技術者より不良を指摘された場合は、早急に改修するとともに、改修後は電気主任技術者に確認のうえ使用するようお願いします。（東部家保検査課 西井課長）

☆ お 知 ら せ ☆

催 事 等	期 日	場 所
北陸三県和牛子牛市場	4月22日	北陸三県家畜市場（金沢市）

発行所 富山県東部家畜保健衛生所 http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1687/
 〒939-3536 富山市水橋金尾新4-6 電 話 (076) 479-1106 F A X (076) 479-1140
 編集者 稲畑 裕子（富山県西部家畜保健衛生所）